

留学先国名 : アメリカ

留学先学校名 : West Los Angeles College

留学期間 : 平成 26 年 8 月 11 日 ~ 平成 28 年 6 月 6 日

約 2 年間の West Los Angeles College での留学が終わりました。気付けばあっという間に 2 年間が経っていました。この 2 年間、いろいろなことがありました。留学前はオーストラリアでワーキングホリデーをしながら、アメリカ留学に向けて準備を進めながら日々を過ごしていました。そのときは不安でいっぱいでした。ほんとうにやっていけるのか、ちゃんと勉強についていけるのか、英語力は大丈夫なのか、ホームシックにならないか、経済面。書き出すと書ききれないくらい、不安で仕方なかったことが、今となっては終わってみて、なんであんな不安だったんだろうと、今では不思議に感じます。当然留学がスタートしてからもつらい時間もありました。日本で待っていた彼女との関係、金銭面での親とのやりとり、ルームメイトとの関係、ストレスでいっぱいだった時期もありました。今となってはいい思い出です。乗り越えました。

留学前に自分自身が心配だったことを主に書き綴って、これから留学する人へのアドバイスとしたいと思います。

・英語力

中学・高校でしっかり勉強して、最低限の学校入学に必要なテストをクリアすれば、カリフォルニアではなんとかやっています。カリフォルニアは特に英語が話せない人が多いので、話す相手もこちらが英語が話せない前提で話してくれるので気軽に生活できます。留学中の友達が結局日本人ばかりになってしまっは、英語力が伸びない、という話を嫌というほど来る前に聞きましたが、自分はあまり関係ないように感じました。気に入った者同士、国籍関係なくだれでも良いと思います。相手が日本人だから距離を置くというのはぼくはしませんでした。

・お金

主な経費として、学費は年間 150 万円、家賃 7 万円/月（シェアルーム）、生活費 5 万円/月といったところです。留学前はなんとかなるだろう、と思っていましたが、来てみるとやはりすごい金額で、親に大変迷惑をかけました。日本政府からのスカラシップは珍しく、ほとんどが返済しないといけな学生ローンです。このローンに関しても審査が厳しく時間がかかり、負担になったのを覚えています。

・学生生活

学校は月曜～木曜、半日だけにするようにスケジュールをたてました。このスケジュールは個人で好きなように決めれるので、家から学校の通学等を考えうまくスケジュール管理する必要がありました。自分は放

課後の時間を有効に使うために主に午前で授業を終わらせ、趣味の時間や娯楽、テスト期間は図書館で勉強したりと有意義に時間を使えました。

留学は自分を大きく成長させてくれました。今まで実家暮らしで食事も洗濯も親に頼りっぱなしで、それが当たり前になっていて、いざ自分でやってみると、いかに大変で面倒なことか気付かされました。遠くに離れていても、いつも応援してくれている両親には頭があがりません。自分が海外でフラフラしているうちに弟は立派な社会人になっていました。弟に先を越されたと情けない気持ちでいっぱいです。末っ子の弟は今年大学に入学しました。彼も大学入学前に留学したい！と言い出しましたが、あまりにもお金がかかり、親もこれ以上お金を出せないということで、僕から弟に話して説得して諦めてもらいました。申し訳ない気持ちでいっぱいでした。

留学は本当に贅沢の贅沢です。TV で有名な林先生も学校は贅沢だと言っていますが、その意味が今となって身に染みてわかります。これだけのお金をかけて英語力を取得しましたが、これが本当に、将来の仕事に使えるのか、先が不安で仕方がないのが現状です。これからひとりの就活生になり、日本で勉強した人たちと仕事を探します。就活に関して先輩からのアドバイスとして言われたことがあります。それは留学していたことは、プラスだし、英語力もみてるかもしれないけど、それだけでは内定はもらえないよ、とのことでした。今の日本にはたくさん英語が話せる人がいて、英語が話せる前提で話を進める会社もあるそうです。驚きました。その中でも、ちゃんと自分を見てもらって、内定がとれるよう、日本でしっかり準備し就活に挑みます。